

1. 授業の概要(ねらい)

発達障害の分野で、各自が関心を持つ、あるいは理解をさらに深めたいと考えるテーマに関する心理学の研究の進め方について、理解を深めることを目的とする。心理学研究演習Ⅰ・Ⅲで自ら設定したテーマについて、実際に調査・実験を実施し、データを収集することにより、理解をさらに深める。データを分析し、それより結果や考察を導くことで論文のまとめ方を学ぶ。同時に、自ら行った研究のプレゼンテーションをすることで、他者に研究内容やその結果を効果的に伝える方法を学ぶ。この授業を通して、クリティカルシンキング、プレゼンテーション、ディスカッションの仕方も学んでもらいたい。

2. 授業の到達目標

1. 研究発表等を通じて、心理学研究の基本的な考え方が理解できる。
2. 自身の研究計画に沿ったデータ収集、データ分析ができる。
3. 結果に基づく考察ができる。
4. 自身の研究を研究論文として報告できる。

3. 成績評価の方法および基準

発表内容、レポート、ディスカッションへの参加を総合して評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

山田 剛史、林 創 大学生のためのリサーチリテラシー入門: 研究のための8つの力 ミネルヴァ書房

参考文献

實吉綾子 フリーソフト「R」ではじめる 心理統計入門 (知識ゼロでもわかる統計学) 技術評論社

5. 準備学修の内容

発表に合わせ、文献の精読、データ分析、資料作成を行ってください。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の進め方・発表の方法について
- 【第2回】 データの収集と分析Ⅰ: データ入力フォーマットの作成
- 【第3回】 データの収集と分析Ⅱ: データ入力
- 【第4回】 データの収集と分析Ⅲ: データクリーニングと欠損値の処理
- 【第5回】 データの収集と分析Ⅳ: 記述統計と統計学的分析
- 【第6回】 データの収集と分析Ⅴ: 統計学的分析
- 【第7回】 「方法」を書く
- 【第8回】 「結果」を書く
- 【第9回】 効果的な図表を作成する
- 【第10回】 「問題と目的」を書く
- 【第11回】 「考察」を書く
- 【第12回】 「引用文献」を書く
- 【第13回】 論文を推敲する(オンライン)
- 【第14回】 効果的に発表する
- 【第15回】 まとめ